

## 長崎県福祉サ - ビス第三者評価結果報告

### 1. 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構

### 2. 事業者情報

名称：社会福祉法人 幸生会 身体障害者療護施設 島原療護センター	種別：身体障害者療護施設
代表者氏名：山田 幸儀	定員（利用人数）：50名
所在地：〒855-0026 長崎県島原市礪石原町甲1201番91 Tel 0957-64-5131	

### 3. 総評

#### 特に評価の高い点

1. 母体法人の「施設は人なり、人は宝である。人は心であり、人の心と人の和が大切である」の理念の基、本事業所においても、エンパワメントの理念に基づいた援助を行うという障害者福祉の基本的な考え方を踏まえ、利用者本位の質の高い支援が行われている。

2. 施設の周囲は雲仙の懐に擁かれた豊かな自然環境に恵まれた場所に位置し、広大な敷地にゆったりと施設が建築されている。施設内の娯楽室や食堂、浴室など、各種設備は充実し、明るく清潔感にあふれている。又、利用者の全室が個室で、遠方からの家族が来訪した際には宿泊出来る設備も整っている。

3. 基準以上の各専門職の配置や、相互支援が出来る様にと母体法人職員の体験実習受け入れは、福祉サービスの質の確保に積極的に取り組んでいる姿勢が窺える。又、ボランティアや学生などの実習生を積極的に受け入れ、福祉人材の育成に大きく貢献している。

4. サービスの実施に当たり、アセスメントシートが充実し、個別の支援計画による実施状況は適切に記録・管理され、利用者本位の支援に繋がっている。

#### 改善を求められる点

##### 1. 中長期計画の策定について

事業経営を長期的視野に立って進めていく為にも、当施設への 地域での福祉に対する需要の動向、利用者数・利用者動向の変化、福祉サービスのニーズ、潜在的利用者に関するデータ等を把握し、中・長期計画の策定や、各年度の事業計画へ反映する事が望まれる。

##### 2. サービス内容を定期的に評価する体制について

職員や利用者等からの意見や提案に基づき、福祉サービスの質の向上という観点から、PDCAサイクルを確実に回し、今後は、サービスの質に関する自己評価や第三者評価等、質に関する検討を組織として継続的に行う事を期待したい。

##### 3. 人事考課の新たな取り組みについて

人材の能力開発・育成に活用される事、公正な職員処遇を実現する事、個々の意欲を喚起し、組織活性化に役立たせる事という本来の目的を再度確認し、絶対評価の基準を明確にする事や、評価者の正しい評価眼を養う事など、考課基準を職員に明確に示し、結果の職員へのフィードバック等、具体的な方策等による客観性や透明性を確保し、より適切に運用する事を期待する。

##### 4. 地域との交流連携

施設が持つ専門的な技術や情報、例えば、介護の技術講習会・研修会の開催、福祉に関する相談窓口の設置等、地域に提供するという様な取り組みを積極的に行い、より一層地域の人達の理解を得る事や、施設の情報を地域に発信して、コミュニケーションを活発にするなど、更なる取り組みに期待したい。

#### 4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

はじめて第三者評価を受審し、施設運営管理・職員研修・利用者サービス・地域福祉等について広範囲な視点で評価していただきました。施設内部組織の充実を図りながら、改善を要する事項についてはできることから取り組んでいきたいと思えます。

家族アンケートについては、全てをご家族等に送付依頼しましたが、内容を真摯に受け止めて今後の福祉サービスに生かしていきたいと思えます。

また、障害者自立支援法について、新体系への移行準備も進めていかなければなりません、未だ不透明な部分があり躊躇しているところです。今後の動向を見守りながら対処していきたいと思えます。

5. 各評価項目にかかる第三者評価結果

(別紙)

- 1、 事業所プロフィール
- 2、 福祉サービス第三者評価結果報告書(島原療護センター)
- 3、 福祉サービス第三者評価結果項目(島原療護センター)

以上